



医療安全管理部では、各種マニュアルの作成と改訂、医療安全ラウンド、ワーキンググループ活動、各種モニタリング、医療事故対応、医療事故・インシデント報告の分析と改善策の実施、医療事故の機構報告、医療講演会(E-learning)の開催、医療安全ニュースの発行、医療安全管理に係る諸会議の運営、院内チーム活動の支援サポートなど、特定機能病院として求められている医療の質の維持・向上を図るための業務を行っている。

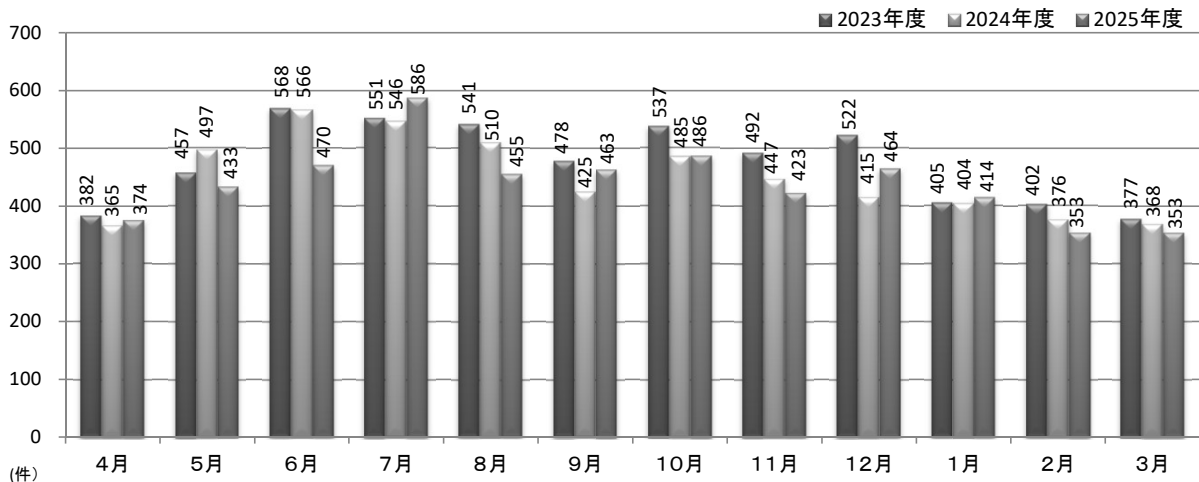
2025年度におけるインシデント報告件数は5,274件、事実関係報告件数は199件であり、2024年度に比して事実関係報告数は減少している。当院規模ではインシデント報告件数は4,000～4,500件が望ましいため、今年度も報告奨励活動を継続していく。

インシデント報告内容は①処方・与薬②療養上の世話③ドレーン・チューブ類の使用・管理が例年と同様に上位を占めている。処方・薬剤関係の内容は手順の不遵守や確認不足によるもの、療養上の世話に関するものとしては、転倒・転落や栄養に関するものが多く報告されている。転倒・転落インシデントの報告件数自体は増加しているが、患者さんへの傷害度は低減されており、「医療従事者の環境整備10か条」の周知も低減の要因の一つに挙げられる。医師からのインシデント報告目標は10%以上を掲げているが、2025年度は3.1%(2024年度2.5%)、事実関係報告を加えても6.2%と減少している。今後も医師のインシデントレポート入力促進活動を強化する。

医療安全管理部は当院の医療の質の向上と維持、さらに安全かつ適切な医療供給体制の確立のため、各部門・診療科と密な連携を図っていく。今年度も医療安全ラウンドやモニタリングを行いフィードバックしていくことで、医療スタッフにより近い医療安全管理活動に邁進したいと考える。全職員が重大な医療事故を起こすことなく、質の高い医療を提供できるようサポートする。

患者さんが安全で質の高い医療を受けられる病院を目指し、安全対策の充実を図っていくために、今後とも医療安全活動へのご理解・ご協力をお願いしたい。

26-1 年度別・月別インシデント報告件数の推移



26-2 年度別・内容分類別インシデント報告件数 (件)

区 分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度 構成比率(%)
処 方 ・ 与 薬	1,486	1,765	2,005	1,730	1,770	33.6
ドレーン・チューブ類の 使 用 ・ 管 理	921	938	881	842	808	15.3
療養上の世話・療養生活の場面	962	1,063	1,168	1,137	1,193	22.6
検 査	531	537	529	591	482	9.1
診察、手術、麻酔、出産、その 他の治療、処置に関する項目	315	173	426	505	436	8.3
医療機器等の使用・管理	169	296	295	242	230	4.4
輸 血	21	23	25	38	22	0.4
そ の 他	138	399	383	319	333	6.3
合 計	4,543	5,194	5,712	5,404	5,274	100.0